

千葉県の腎臓病診療の最後の砦

千葉大学腎臓内科

慢性腎臓病患者さんと透析患者さんの生活の質(QOL)の向上を目指し、他診療科とも緊密に連携し、患者さん個々のニーズに応える医療を目指しています。 慢性に経過することの多い腎疾患に対応するには継続的治療が最も重要なため、 外来診療は原則として初診時から同じ医師が担当しています。腎疾患の治療上、 血液浄化は重要な手段であるため、人工腎臓部・集中治療部とは密接に情報・意 見交換を行っています。なるべく入院期間は短くすることを心がけ、外来で治療 を継続し、生活の質(QOL)の維持と健康寿命の延長を心がけています。



G Chiba Univ. Nephrology

腎臓ってどんな臓器?

腎臓の役割

尿を作る

ホルモンを作る

血圧の調節 ミネラルの調節 血を作る 骨を作る



00

腎臓が働かなくなると...

①尿を作れなくなる

体に水が貯まる むくむ、息苦しくなるなど 毒素が体に貯まる 疲れやすい、だるさ、吐き気、 かゆみなど

②ホルモンを作れなくなる

ミネラルのバランスが崩れる 血圧が上昇する 貧血になる 骨がもろくなる



症状が出るころに は透析間近な状態 であることも

早期に発見すれば、透析を 回避できたり、透析までの 期間を延ばしたりできる

腎臓が悪いかもしれないサイン

「たんぱく尿がある」 「血尿がある」 「腎機能が悪い」 などと言われたら

専門医に早めに相談を!

生活習慣から腎臓が悪くなることも

糖尿病や高血圧、脂質異常症、喫煙、肥満、 薬剤・サプリメントなどから<u>腎機能が悪化することもあります。</u>

減塩、適度な蛋白質とカロリーの摂取、適度 な運動を行うことにより、腎臓を守っていき ましょう!



腎臓病教室が始まります!



腎臓病教室は、腎臓病についての知識、生活についての注意点を患者さんと共有し、一緒に目標をたてながら<u>腎臓を長持ちさせるためのサポート教室です。</u>

CKD教育ビデオプロジェクトチームが中心となって作成した**動画や 配布資料などを使って外来の空き 時間にわかりやすくお伝えします。**

参加希望の方は腎臓内科外来に相談を

CKD重症化予防対策

薬剤による腎臓の悪化を防ぐため 下記のシールを薬手帳に貼付する 取り組みを千葉県で行っています。





腎機能に応じてシールの色を分けています。

ご協力をお願いします!









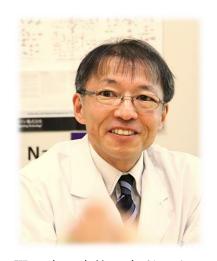


医療の先端を切り拓く

アレルギー・膠原病内科



アレルギー・膠原病内科は免疫の異常によって生じる様々な疾患を診療しています。みなさんの身近な所ではアレルギーの原因となる食物や薬の検査を担当しています。また、未 だに原因がわかっていない膠原病やその類縁疾患の診断・治療を行っています。



膠原病の症状は多彩です。 患者さんの症状に応じた 診療方針を立てます。



免疫学研究を通じて、 新たな治療法の開発に 取り組んでいます。



診療ガイドラインを 書き換えるような重要な 臨床研究を行っています。

アレルギーや膠原病などの免疫疾患は根治に繋がる治療法が確立されていません。そういった病気を抱える患者さんが前を向けるような診療・研究を目指します。





循環器疾患全般にわたり医療を提供

循環器内科



循環器内科では、循環器疾患の専門スタッフにより科学的な根拠のある診療・医療 (Evidence Based Medicine: EBM) に基づいて専門的かつ最新の治療を行っています。 虚血性心疾患(急性心筋梗塞、狭心症)、不整脈、心不全、心臓弁膜症、末梢血管疾患など循環器疾患全般にわたり、それぞれの専門医が医療を提供いたします。



専門的な研修が受けられる

当科には、心臓カテーテル検査・治療、 不整脈検査・治療、画像診断などすべて の分野の専門家がいます。高度な教育・ 指導を受けることができ、技術や知識を 早く身に着けることができます。



外科との連携で最適な治療を提供

従来は、心臓血管外科とは別々にそれぞれの患者さんに対し、単独で治療法を決定していました。現在は、カンファレンスも合同で行い、治療決定から術後のフォローまで、患者さんにとって最適な

選択ができる環境を作っています。







個々の患者さんに適した医療を提供する

乳腺外科

わかりやすい説明 を心がけています!

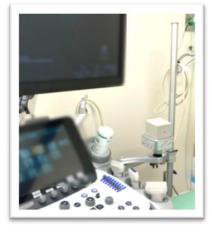


乳腺外科は、主に乳癌を取り扱います。乳癌罹患率は年々増加傾向にありますが、働き盛りの女性にも多く発症するため、多職種の協力の下に患者さんのライフスタイルも考慮した治療を行います。2017年より「ブレストセンター」を発足させて、チーム医療による診療レベルと患者導線の集約による利便性の向上を可能にしました。

<u>l. 広い病変でも温存手術を諦めない</u>

広範囲な乳癌であっても、可能な限り乳房を残せるような 手術に取り組んでいます。部分的に切除し、そのまま自身 の組織を充填させることで、低侵襲かつ整容面に優れた乳 房再建が可能になりました。





Ⅲ. 見えない病変を可視化する

Fusionという技術を用いることで、様々な画像検査の結果を融合させることができるようになりました。これにより、今まで以上に正確な乳癌の診断が可能になりました。

Ⅲ. 体質に沿った治療の提供

乳癌や卵巣癌になりやすい体質と診断された方は、 予防的な手術や専用の薬物治療が適応となります。 多職種との合同会議で最適な医療が検討されます。





到 腺外科HP





病状に応じた医療の提供を心がける

呼吸器外科



呼吸器外科は、肺癌や縦隔腫瘍、気胸などを主として、肺・気管、縦隔、胸壁・胸膜、 横隔膜などの胸部に発生する病気に対して治療を行っています。内視鏡システムなどに よる検査を行い、科学的根拠と生活の質(QOL)を重視した治療法を提案しています。 また全国に11施設ある肺移植認定施設の1つであり、移植医療にも力を注いでいます。



正確な術前診断を心がけて

正確な診断つけること、そして診断に基づく適切な治療方法を提示することを常に心がけ、検査から治療まで担当します。 週1回、呼吸器内科、放射線科、病理診断科と合同会議を行い、幅広い専門家から意見をだしあって、より良い治療方法を提供できるように検討しています。



手術後のQOLを大切にしています

肺の手術では、肺を切除するため呼吸機能が 手術前に比べて下がってしまいますが、日常 生活で制限されることはありません。できる だけ身体の負担が少ない胸腔鏡やロボット手 術を用い、早期からリハビリを行い、早めに 日常生活に復帰できるようにしています。





整形外科

整形外科全般にわたる高度な医療を提供しています



脊椎脊髄外科、関節外科、スポーツ整形外科、手外科など、専門分野別に整形外科領域のプライマリーケアから先端医療まで幅広く扱っております。

脊椎脊髄外科、関節外科、手の外科、パフォーミングアーツ医学、四肢外傷、転移性骨腫瘍など 疾患診療領域別に各専門外来·グループに分かれ、整形外科疾患全般を網羅しております。小児整 形外科に関しましては千葉県こども病院、骨·軟部腫瘍に関しましては千葉県がんセンターと連携 し治療に当たります。

患者様 第一の診療

当科は50以上の関連病院と連携し、臨床、基礎研究と もに最先端の医療を提供いたします。

入院期間短縮、低侵襲手術と患者さんのご負担を減らすことを目指してます。また、個々の患者さんに合わせたテーラーメイド医療、現在のニーズに対応した診療が可能です。



最新情報はHPやSNSで ご確認いただけます。 是非ご覧ください!





整形外科Instagram



充実した手術トレーニング機会

毎年シニアレジデントの医師を中心に 『CAL手術手技ハンズオンセミナー』を 行っています。ご献体での手術手技ト レーニングを行い、実際の手術とほぼ同 じ環境で学ぶことが可能です。





五感の維持・改善と、頭頸部癌の制御に取り組む

耳鼻咽喉·頭頸部外科

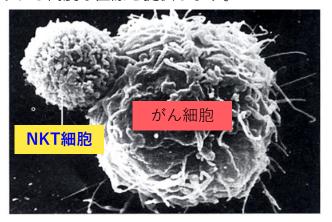


耳鼻咽喉・頭頸部外科は、聴力、嗅覚、味覚はもちろんのこと、視覚低下をきたすような重症な副鼻腔疾患にも対応し、触覚を含めた五感すべてに関わり、その機能維持・改善に取り組んでいます。また、頭蓋底から鎖骨の間の頭頸部領域に発生する腫瘍全般の治療を行っています。QOL(生活の質)を豊かにする機能改善のための治療から、生命に関わる頭頸部癌の治療まで、患者さんが安心して任せられる高度な医療を提供します。



["]優〟しさに ["]秀〟でた医師の育成

咽頭癌、鼻副鼻腔癌、耳下腺癌などの悪性腫瘍を中心に、年間400件以上の手術を行っています。再建を伴う拡大手術から内視鏡を用いたより侵襲の少ない(体に優しい)手術も積極的に導入しています。折れない心を持った"優秀、な医師の育成に力を入れています。



iPS細胞を応用した治験も進行中

標準的な治療では完治の難しい進行頭頸部癌に対して、新規治療法の開発が望まれます。 当科ではiPS-NKT細胞を用いた治験を行っています。また、頭頸部癌の遺伝子・

免疫学的解析を行い、新規治療薬の

開発を目指した研究を行っています。



耳鼻科HP





目の前の患者さんに最善の医療を 精神神経科 こどものこころ診療部



当科は、こころの病を対象に診察し、新しい治療に積極的に取り組んでいます。「**目の前の患者さん** に最善の医療を提供し、将来さらによい医療が提供できるよう努力する」をモットーに、認知行動療法、修正型電気けいれん療法、新薬の治験など新しい治療に積極的に取り組んでいます。こどものこころ診療部との連携により、児童思春期の問題にも対応しています。



エビデンスに基づくグループ制による

入院治療と教育

根拠に基づいた合理的な薬物療法に取り組んでいます。

グループで議論しながら診療することで、充実した教育と最善の医療を目指しています。



食欲や睡眠時間の変化で こころの不調に気付けること があります。



多職種で連携した

精神療法・認知行動療法

認知行動療法による専門的治療を行っています。専門外来による治療のほか、入院による集中的治療も可能です。

常に多職種で患者さんに最善の医療を目指しています。

変化を教えてくれる だけで嬉しいです!



病院広報 LD





脳・脊髄・神経を守るため 低侵襲・最先端の医療を提供します





脳神経外科が担当する病気には、生命の問題のみならず、生活の質を大きく変えてしまう病気があ ります。我々は診断・治療の手法が急速に進歩している中、先進的で低侵襲な診療を提供できるよ う努力しております。超高齢化に伴う脳血管障害患者の増加に対応するため包括的脳卒中センター および脳卒中ケアユニット開設し、年間約400件の脳卒中コールを応需しています。



腰椎穿刺モデル体験

動脈瘤コイル塞栓術 トレーニング

顕微鏡下血管吻合 トレーニング

海外での学会 口演発表

手術トレーニングや学会発表が充実

研修医・若手の教育を特に重視しており、血管 吻合、血管内治療手技、モデルを用いた腰椎穿刺 や穿頭など非常に充実しています。国内・海外で の**学会発表や論文作成**をサポートします!!





脳神経外科HP



FOLLOW US ON Instagram 🖾

低侵襲治療で痛みや神経機能を温存

低侵襲手術は当科の特色の一つです。**血管** 内治療、内視鏡を用いた小さな開頭手術、神 経機能を温存するための**覚醒下手術**など患者 さまの術後の痛みが少なく、早期回復のため、 各分野のスペシャリストが揃っております。





子どもに寄り添った医療を提供する

小児科



小児科は、新生児期および小児期における内科疾患のみにとどまらず、生まれつきの病気や小児期に発症した慢性疾患で生涯にわたる診療を必要とする患者さんの全人的・包括的医療(成育医療)を実践することで、個々の患者さんとご家族の要望に応えます。 「子ども達の味方です」を合い言葉に子どもに寄り添った医療を提供しています。



集学的治療を実践しています

各専門分野の指導医が在籍し、協力して 目の前の患者さんに集学的治療を行いま す。連携病院でも専門医がおり、それぞ れの視点で助言を行います。同一の患者 に対して様々な視点を見聞きし、深みの ある研修ができます。



ニーズに応える診療を行います

感染症予防を徹底する生活によって、小児医療の変化が一気に進んでいます。こうした医療ニーズの変化にも答えることができるよう、

7つの領域の専門班が協力して、

「子どもに還元できる」新しい 医療の開発に取り組んでいます。



千葉大学病院小児科HP





希望と未来、明日へつなぐ医療

小児外科

-手術が必要なお子さんを幅広く診療します-



小児外科では生まれてすぐに手術が必要な赤ちゃんや子どものがんなどの難病・重症のお子さんから、盲腸や脱腸などのよくある病気、お子さんのけがまで幅広く対応しています。

-生まれる前から、成長をともに見守る-



各専門家が集まる大学病院の強みを生かし、 産科/小児科/成人診療科と連携し、成長過程 にあわせたシームレスな医療を提供します。

-伝統を受け継ぎ、未来を紡ぐ-

-お子さんの突然の病気に対応する-



千葉人字小児外科は地域の中核病院として、 千葉県内で唯一、24時間365日小児外科医が 常駐し緊急手術に対応しています。

千葉大学小児外科は1976年、国立大学としては 全国で2番目に設立された小児外科です。

蓄積された経験を継承し、発展させ、病気の子 どもたちの医療に還元する。大学病院の使命で ある教育と研究も担います。



·葉大学病院小児外科HI



Chiba University
Pediatric Surgery





【離床りしょう】 【早期そうき】 【運動うんどう】 理想(りそう)のリハビリテーションを提供します

リハビリテーション科



傷病に伴う障害を医学的に診断治療し、より早期の機能回復と社会復帰を図ります 傷病に伴う障害を医学的に評価し、理学療法・作業療法・言語聴覚療法・義肢装具療法 等のアプローチにより、日常生活動作や高次脳機能の改善を図り、早期の社会復帰を目 指します。







言語聴覚療法

救急搬送・手術翌日からの介入

リハビリテーションは、早期からの実施 が近年、高く求められています。当院で は、治療翌日からの療法士によるリハビ リテーション提供を行っています。早期 にベッドから離れることは数ヶ月後の活 動に影響します。

理学・作業・言語の専門的療法

理学療法は基本動作を、作業療法は応用動作 を、言語聴覚では言語聴覚の回復を目的とし、 それぞれの個人に見合った活動に繋げる運動 を提供します。千葉大学では全診療科へのリ ハビリテーションを実施しています。

HOSPITAL



対話重視のアプローチで未解決問題の診断に迫る

総合診療科

当科のオリジナルロゴです。

CHIB



総合診療科Webサイト



ほとんどの外来疾患は病歴で診断できるという立場から、未解決の問題に対して、様々 な臓器や心理社会面を加味した包括的な切り口で、問診を重視した診療を行っています。

チーム制で診察!セカンドオピニオン外来

受診した医療機関で解決しなかった問題に対して、複数の 医師で問題解決をします。



領域横断的な視点で問題解決!病棟診療支援

千葉大学病院全診療科の入院患者さんを対象として、未解決な問題がある場合に、担当医師をはじめ、多職種からの相談を受けて、病棟診療支援を行っています。



体制充実! 若手医師への教育・研修

全患者さん対象のチーム制による指導体制は若手医師に好評です!2024年度は新たに6名が入局しました!

未来への投資! 研究(医師偏在対策、AI、複雑性評価 他)

- ・プライマリ・ケア診療可視化に基づく医師偏在指標の開発(厚生労働科学研究費)
- ・診断に特化したBERTファインチューニングモデルの開発(文部科学省科研費) 他



映像で安心、リラックスして検査 放射線部



放射線部では、レントゲン、CT、MRI、血管撮影、核医学などの検査や放射線治療を行っています。特に、長時間にわたる検査は、患者さんにとって不安やストレスを伴うことがあります。 少しでも不安を和らげるために、検査室に映像や仮装天窓を設置する取り組みを行っています。 これにより、患者さんは安心して検査を受けることができます。



子どもでも安心して検査が受けられるよう、アニメーションを 用いて検査説明を行います。



狭い機械の中でも、映像を見る ことでリラックスして検査を受 けることができます。



検査室には仮装天窓を設置 しており、開放的な環境 で治療を受けられます。



放射線部HF



感染症治療と感染対策の専門部署として取り組んでいます

感染症内科/感染制御部



感染症治療の専門科として外来・入院の患者様の対応を行っています。また、感染制御部は医師・ 看護師・薬剤師・検査技師・事務の多職種チームによる感染対策を通し、患者さんが安心して医療を 受けられるよう活動しています。特に今年度はWHO手指衛生多角的戦略を取り入れ、手指衛生の強化 に取り組み感染症の予防と感染拡大防止を徹底しています。感染対策は地域の医療機関・行政との連 携も重要です。千葉県院内感染対策地域支援ネットワークを通して、地域連携に努めています。

学生や職員への教育を通し、今と未来の感染症に立ち向かう!



感染予防の基本は手洗いです

右の写真は10秒間手洗いした際の洗い残しの様子です。**手洗いは30秒以上**かけて行いましょう。特に洗い残しの多い指先・指の間・親指は入念に!

新型コロナウイルス感染症の対応で得た経験も取り入れ、感染予防や感染拡大防止は重要であり、安全な医療を提供できるよう、手指衛生などの教育や指導に取り組んでいます。

光っている所が洗い残し







咸染症内科HP





新しい薬・治療法の開発をめざす

臨床試験部



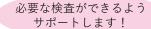
臨床試験部は、新しい薬や治療法を患者さんに届けるため、各専門家と協力して国の承認を得るための臨床試験(治験)を行っています。私たちの目標は、患者さんのニーズに応える治療法を世に送り出すことです。

こんな仕事をしています!



医師が日々の診療で 見出した疑問や気づきから、 新たな治療法の"種"が生まれます。

治験の内容を患者さんに 分かりやすく説明します!







安全性と科学性を守っています。

✓ 専門スタッフが診療科のみなさんと協力し、 参加する患者さんの安全性と研究の科学性 を担保しています。

通常の治療と何が違うの? 自分も参加できるの?

もっと知りたく なった方はコチラ!







治験の結果をもとに、国が 新しい治療法を認めます。 当院の医師が主導した治験 で、2020年から、シクロス ポリンが重症川崎病に使え るようになりました。



治験の適切・円滑な実施を支えています。

- ✓ 治験全体の進行を管理します!
- ✓ データを適切に管理します!
- √ 治験のルールや計画を守って 行われていることを確認します!
- ✓ 結果の解析をサポートします!



臨床試験部HP





栄養管理で治療効果の向上に寄与する

患者さんの病状に合わせた食事の提供を しています!

臨床栄養部



臨床栄養部では、患者さんに満足いただける安全で美味しく、治療に適した食事の提供と、 過栄養・低栄養状態を改善するための栄養管理技術を提供しています。治療に適した食事の提供の ためのフードサービス部門と、栄養管理を中心としたクリニカル部門の二つの部門があります。



切れ目のない栄養管理を提供

入院中はもちろん退院後や転院先でも栄養がしっかりとれるように、退院前の栄養相談や転院先との情報共有をおこなっています。外来での栄養指導も行っています。お気軽にお声がけください。



美味しく楽しみとなる食事を提供

患者満足度調査や嗜好調査の他に職員によ

る試食会なども取り入れ、メニューのリニューアル・食器の改善・食材料検討の強化を行っています。安心安全はもちろん、楽しんでもらえるよう工夫しています。





次世代の医療人育成の継続的かつ包括的拠点

総合医療教育研修センター



当センターは、病院に勤務するすべての医療者の育成を重視し、互いに学び合う環境を築くことを目標に日々活動しています。医師、看護師、事務職など多様な医療職で構成されており、患者さんを尊重し、高い専門性とともに専門職連携を実践する能力を備えた質の高い医療を提供できる医療者を育成できるよう日々取り組んでいます。



専門職連携から医療の質の向上へ!

様々な職種の新入職員が参加し、専門職連携や接遇などを習得する合同新人研修、全職員向けの一次救命処置、急変対応セミナーなどのプログラムを継続的に行っています。病院全体での医療職の学びを支え、連携を強化することで医療の質の向上に貢献しています。

医療専門職の生涯学習を支援します!

資格取得前の実習の受け入れと環境整備から始まり、新人看護師研修、研修医プログラム、さらにはそれぞれの職種に必要な専門研修、管理者研修など、医療専門職の継続学習の企画、実施、継続的改善を行っています。





千葉大学病院から千葉県全体の医療へ

千葉県、文部科学省・厚生労働省の事業にも参加し、 大学病院に留まらず、千葉県内の医療機関とも協力体制を 構築しています。医療者養成のみならず指導者養成も行い、 千葉県全体の医療を人材育成の側面から支えています。













科学的根拠に基づく最適な薬物治療をめざす

薬剤部





内服薬調剤



血中濃度測定

病棟担当薬剤師

お薬で気になることを ご相談ください。 副作用の発見に繋がる こともあります。





抗がん剤調製



問い合わせ対応

患者支援センター

常用薬が手術に影響しないかどうか確認します。サプリメント 等もお伝えください。



このほか、内服薬・注射薬の鑑査や疑義照会、医薬品の管理、投与設計支援などを行い、医薬品の安定供給や、薬による医療事故の防止に努めています。 また、がん化学療法や抗菌薬、栄養など、さまざまな分野の認定・専門薬剤師が、他職種と連携し、個々の患者さんの病態に合わせた治療に貢献しています。



薬剤部HP





「じぶんらしく生きる」を支え、未来をつくる

看護部





新興感染症、自然災害、そして少子超高齢化、社会はいま、看護の力を必要としています。 私たちは看護専門職として、目の前の患者さんに向き合い、その尊厳を守り、一番近くに寄り 添って必要なケアを提供するとともに、さまざまな職種をつなぐ役割を果たしています。

高度急性期医療を支える確かな実践力とチーム力で、人々の健康に貢献します



医療の視点だけではなく、生活の 視点を持って"人"を見つめ、苦痛 を緩和し、回復過程を促すよう関 わっています。



より高度な看護を実践する専門看 護師や認定看護師、特定行為(診 療の補助)ができる特定看護師が、 多数活躍しています。



看護補助者も看護チームの 一員として、患者さんの生活 上のお世話や、環境の整備な どを行っています。



看護部では、毎年100名ほどの新入職者を迎えています。 これからの社会を支える医療者の育成にご協力ください。





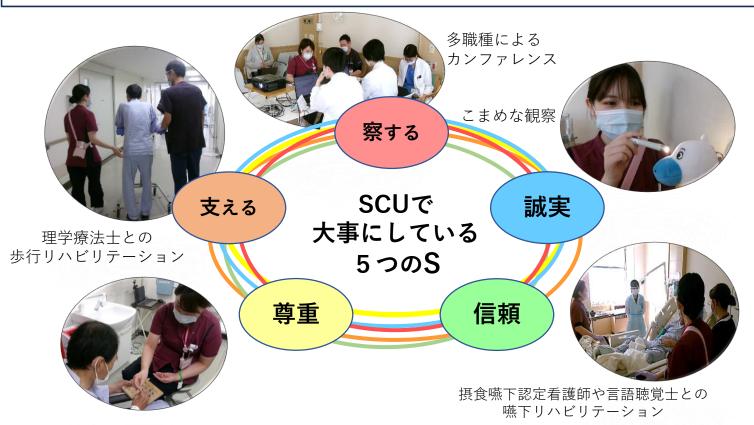
有護部HP



小さなサインも見逃さない 脳卒中の万全な医療を提供します Stroke Care Unit



Stroke Care Unit (脳卒中集中治療室)は、急性期脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)の 治療を専門的に行う病棟です。救急科・リハビリテーション科・脳神経外科・脳神経内科・患者支援部 等一体となり迅速かつ包括的な診療を行っております。脳卒中治療から退院後の再発予防の指導まで一つのチームの中で連携し、患者さんとご家族に最先端の治療と安心をご提供します。



脳卒中専門医・多様な資格を持つスタッフが在籍

脳卒中は、病状が変化しやすく、発見の遅れが後遺症につながる病気です。SCUには、脳卒中だけでなく急変時に対応できる専門的なトレーニングを積んだスタッフが多数在籍しています。 患者さまの小さな変化も見逃しません!





高度医療が必要なご家族と赤ちゃんのために











2017年1月に千葉大学医学部附属病院は千葉県内で3番目となる総合周産期母子医療 センターです。当センターでは千葉県内の医療機関とも連携し、緊急搬送の受け入れ 先を迅速に探すシステムを運用しています。1組でも多くの母子を救うため、大学病院 ならではの高度な医療を提供するとともに、周産期医療の進歩に貢献していきます。







2016年4月に開設し、NICU15床GCU12床を有しています。新生児 認定看護師をはじめ、助産師も活躍しています。新生児内科疾患に 加え、手術が必要な新生児外科疾患を有する児も受け入れています。



生まれたての赤ちゃんが笑った!

~エンジェルスマイルって?~

人が初めて笑う瞬間はいつでしょうか?

実は生まれてすぐの赤ちゃんも笑うことがあるんです。

これは筋肉の反射によって起こるもので生理的微笑、

またはエンジェルスマイルとも呼ばれることがあります。

次第に発達が進むと、人の顔や声に反応して笑うようになり、

これを社会的微笑といいます。

NICU/GCUでは赤ちゃんだけでなく、ご家族も笑顔になれるよう な医療・看護を提供することを心がけています。

私たちはご家族と赤ちゃん にとっての

> 最善を一緒に考え、 サポートします

> > 周産母子センタ-







大規模災害時にも医療活動を止めない

災害派遣医療チーム

~DMAT: Disaster Medical Assistance Team~

DMATとは、大規模災害や多数傷病者発生の可能性のある大事故の現場で医療行為を行う、医師、看護師や業務調整員(事務職員等)で編成される災害派遣医療チームです。当院には日本 DMA T隊員が23名、千葉県 DMA T隊員が15名在籍し、災害時には迅速に活動し、平時にはトレーニングや国や自治体の訓練に参加しています。

実際の活動

厚生労働省や千葉県のトレーニングを受けたDMAT隊員は、災害発生時に準備を開始し、 千葉県の要請を受けて迅速に医療活動を開始し、人命を救う活動を行っています。

2024年 能登半島地震



2020年 台風19号



2011年 東日本大震災



災害に備えたトレーニング

私達DMATは、日ごろから災害に備えて日々のトレーニングや訓練への参加を行い、「大規模災害時にも医療活動を止めない!」を心掛け今後も活動を続けていきます。



救急車での患者搬送



衛星電話の活用



政府合同防災訓練





次世代に届ける保健医療政策の研究・教育・実務を行う



次世代医療構想センター





千葉をモデルに持続可能で質の高い保健医療の提供を目指します

保健医療に関する課題は、日本全体の問題であり、医療従事者一人ひとりの働き方・生き方の問題、そしてその地域に住んでいる人々の問題でもあります。当センターでは、保健医療政策を柱としながら、将来の人口構成や疾病構造の大きな変化を見据え、3つの方針で活動しています。

【1:研究開発から課題解決へ】

日本の保健医療の課題をデータと実態に沿って明らかにし、解決のための方策を開発、実行します。

【2:千葉をモデルに全国に展開】

千葉をモデルとし、日本全体·都道府県·市町村それぞれの地域でも適用可能な手法を実践します。

【3:多くの主体ともに研究開発と実践】

国や自治体·企業·医療機関などと密に連携し、共同して研究開発と課題解決を遂行します。

成果を広く発信し、多く方に活動を知っていただくことを大切にしています。 多くの分野の専門家、研究者、若手医療職、学生など多彩なメンバーが集っています。



生物統計,NDB等を用いた疾 病の疫学研究・臨床研究

国際保健行為分類の 国際会議(WHO)

医療のトップランナーたち とのクロストーク

地域と連携した糖尿病発 症・重症化予防への取組み



構想センタ-HP





がんになってもパパママに

千葉県がん・生殖医療相談支援センター



思いもかけず悪性腫瘍の診断を受けた方、またそのご家族の方、今はその病気の治療や予後について、不安でいっぱいなことと思います。そんななか、「将来、自分が子供をもうけるかどうか」のことまでは、なかなか思いが寄らないかもしれません。でもご安心ください。わたしたち、千葉県がん・生殖医療相談支援センターは、そんなご不安を抱えていらっしゃる方に、今、何ができるか、そのためには何処で何をしたらよいか、情報を提供し、ご希望に沿った医療が受けられるよう支援します。

千葉県がん・生殖医療ネットワークCOFNET を設立し、HPを公開しました

にんよう

妊孕性温存療法を必要とする患者さんへの 支援が円滑に行われるようなシステムの構築を 目指しています。

情報提供カード

妊孕性温存療法の普及啓発のため、病院、 クリニック、保健センターなどへ配布しています。





相談業務

がん・生殖医療ナビ ゲーターが対応します。

どんなことでも ご相談ください!

3043-226-2749



千葉県がん・生殖医療相談支援センターホームページ

